

平成15年度

**教育の情報化推進のための
理事長・学長等会議
開 催 要 項**

日 時：平成15年8月2日(土)

会 場：日本大学（理工学部駿河台校舎1号館）

東京都千代田区神田駿河台1-8-14

TEL: 03-3259-0514

社団法人 私立大学情報教育協会

テーマ

「教える授業」から「学ぶ授業」への 大学の取り組み

開催趣旨

教育基本法に根拠を置いた教育振興基本計画の中間報告において、ＩＴ環境の整備とＩＴを活用した教育内容の豊富化・高度化の推進が今後の検討課題として指摘されている。また、１６年度より第三者機関による大学評価が法律で義務付けられることから、大学は、教育研究の環境・体制・機能について総合的な自己点検・評価を行い、組織的な改善・改革の取り組みが避けられなくなってくる。

教育改革の成否は、教員と職員が一体となり、大学あげての教育支援が組織的に展開されるか、否かに依存してくる。そこでの教育は、教員が「教える授業」から学生自らが「学ぶ授業」へ、教育方法の抜本的な転換が不可欠となってくる。その一つの手段として、学生の学習意欲を惹起し、いつでも、どこでも学生個人が相談・助言が得られる支援が情報技術（ＩＴ）を活用して提供されることが望まれる。

本会議では、このような現状認識を踏まえつつ、学ぶための教育システムの在り方について、ｅラーニングをはじめとするＩＴによる教育システムの可能性と限界、教職一体の教育・学習支援体制などの課題について協議し、学生に魅力ある大学創造について考究する場としたい。

プログラム

- 1:00 **会長挨拶**
会場校挨拶 **日本大学瀬在幸安総長（予定）**
- 1:15 **講演** **「e-ラーニングの可能性と限界」**
対面授業を補完するための学習支援システムとしての機能、効果
および導入に際しての課題について紹介する。
清水 康 敬 氏（国立教育政策研究所教育研究情報センター長）
- 2:00 **休憩（10分）**
- 2:10 **事例発表** **「ITを活用した学習支援システムへの取り組み」**
事例1：e-ラーニングによる学習支援（文教大学）
事例2：授業のオープン化、学習支援システム（明治大学）
事例3：教職一体型の教材作成支援システム（中部大学）
- 3:20 **休憩（20分）**
- 3:40 **全体討議** **「サイバー・キャンパス実現に向けての取り組みを考える」**
サイバー・キャンパス実現に不可欠な環境として、本協会が提唱するネット
ワークによる大学連携、著作権処理システムについての積極的な大学参加につ
いて意見交換を行うとともに、教員、職員連携による教育・学習支援の在り方
と課題について事例報告を踏まえて対応策を整理し、サイバー・キャンパス実
現に向けての取り組みを総合的に考える。
※大学間情報交流システム、サイバー・キャンパス・コンソーシアム、
電子著作物権利処事業の報告
※全体討議
※決議
- 4:40 **関連情報提供** **「情報化投資額の実態と補助金の活用」**
- 5:00 **会場移動**
- 5:10 **懇親会**
- 6:10 **閉会**

■参加対象

理事長、学長、理事、副学長（学長補佐）、学部長、教務部長（教員限定）、短期大学の学科長、ご本人とします。なお、ご本人以外に随員は2名まで参加できますが、ご本人が出席されない代理者のみの参加は対象としません。

■参加費

1名 **12,600円**

■申込方法

別紙申込用紙にて法人又は大学単位で一括して7月25日までに郵送又はFAXして下さい。なお、参加費は法人又は大学単位でまとめ、下記宛に7月31日までに振り込み下さい。

＜振込先＞りそな銀行市ヶ谷支店 普通預金 0054409

名義人 （社）私情協

7月31日（木）までのキャンセルについては、参加費を返金いたします。それ以降のキャンセルについては、懇親会代と資料代を請求させていただき、後日資料を郵送いたしますので、あらかじめご了承下さい。

■会場への交通

J R 中央線、総武線：御茶ノ水駅下車、徒歩3～5分

営団地下鉄千代田線・新御茶ノ水駅下車、徒歩5～8分

営団地下鉄丸の内線・御茶ノ水駅下車、徒歩5～8分程度です。

地図を参照下さい。

■送付先・問い合わせ

社団法人 私立大学情報教育協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-14 No.1山崎ビル4階

TEL：03-3261-2798 FAX：03-3261-5473